志高く、大人への一歩を
令和7年度桑折町立志式

町青少年育成町民会議主催の立志式が2月3日、イコーゼで行われ、醸芳中学校2年生93人が参加しました。立志式とは、日本古来の成人式「元服」に由来する行事で、数え年で15歳という節目の年に、将来の目標や志を立てるものです。

式では、同会議会長の髙橋町長が代表生徒へ立志証書を授与し、「自分の在り方や生き方を考え、社会の一員としての自覚や責任感を持つ機会としてほしい」と式辞を述べました。誓いのことばでは、佐藤翔空（とあ）さんが「これからの未来を担う人間として自分の言動に責任を持って日々前進していく。大人社会へ一歩踏み出す一人の人間として、日々挑戦、努力し、社会に貢献できる人間となれるようここに約束する」と力強く誓いました。

1_町長式辞に聞き入る生徒　2_大人への一歩踏み出した生徒を代表し、誓いの言葉を力強く述べる佐藤翔空さん　3_志を胸に式に臨む生徒のみなさん

式の後、伊達市出身の声優・佐々木るんさんによる記念講演が行われ、声優を目指すきっかけやプロになるまでの過程、苦労などを語りました。佐々木さんは「自分にはどんな才能があるかを考えて、他人からは何に向いていると思われているのかをキャッチして、自分の進むべき道を見出して」とエールを贈りました。最後に、会場にいる全員で「手紙～拝啓　十五の君へ～」を歌唱。生徒らは、自分自身を信じて大人への一歩を踏み出しました。

4_「There are forks in life（人生にはいくつもの岐路がある）」という言葉をテーマに、夢との向き合い方を語る佐々木さん　5_佐々木さんのリクエストで声優志望の生徒2人が歌詞を朗読　6_感謝と希望を込めた歌声が響き渡る会場

広　告

誰もが住みやすいまちを願って
桑折町ＳＤＧｓ川柳コンクール

桑折町ＳＤＧｓ推進町民会議と町は、ＳＤＧｓの普及・啓発を目的に、「ＳＤＧｓ」をテーマにした川柳コンクールを実施しました。作品は、昨年7月から9月にかけて募集し、全国から２０１７作品（４４２人）の応募がありました。

審査会では、福島県川柳連盟理事のこはらとしこ先生を特別審査員に迎え、厳正な審査を行い、大人の部最優秀賞1作品、優秀賞3作品、子どもの部最優秀賞1作品、優秀賞3作品の計8作品を入選作品としました。表彰式が2月13日、伊達崎公民館で行われ、同会議の佐藤久仁夫会長が受賞者を表彰しました。入選作品は、町のＳＤＧｓ啓発・推進事業に活用されます。今後も、同会議と町は、さまざまな活動を行い、家庭や職場でのＳＤＧｓの浸透を図っていきます。

大人の部

最優秀賞
リサイクル
できないものは
人・地球
伊達市　津村 栄

優秀賞
敏感（ビン・カン）に
分別つける
この時代
桑折町　阿部 康浩

優秀賞
住み心地
良い町作りも
ＳＤＧｓ
桑折町　相原 晴美

優秀賞
電気オフ
家族仲良く
1部屋で
桑折町　亀岡 静子

子どもの部

最優秀賞
いつまでも
ホタル来るまち
まもりたい
桑折町　岡田 侑生禾

優秀賞
マイボトル
ぼくも地球も
いい気分
桑折町　古山 雄大

優秀賞
みんなちがう
だからすてきな
おともだち
桑折町　三浦 千知

優秀賞
かわきれい
ごみをすてるな
こおりまち
桑折町　八巻 彩芽